



# TAGARAから世界へ! TAGARAから未来へ!

令和4年2月1日 令和3年度 第10号 発行責任者 東京都立田柄高等学校長 加藤竜吾

## 校内雑感

校長 加藤 竜 吾

3学期が開始されたものの、新型コロナウイルス感染症は、衰えをみせることはありません。日本における急激なオミクロン株の増大は、第6波に向けて準備を進めていたところへ様々な影響を示しています。田柄高校においても学校関係者の感染が日々報告される中で、3年生の学年末考査が終了するまでの最初の1週間は、これまで通り50分授業6時間の授業計画で実施しました。しかしその後は、在京・推薦に基づく入学者選抜を受検生に安全・安心に受検してもらうことと、4月以降のCYOD方式によるオンライン授業にも少しずつ慣れるため、Teamsによるオンライン授業と併行する形で実施しました。この一年間の間に少しずつ進めてきたところですが、3学期はこの後の分割前期・分割後期の入学者選抜でも確実な入学者選抜の実施とその前後の選考作業を集中して実施できる体制を確保しながら、オンライン授業を併用した体制で進めていく予定ですので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。生徒たちは、Teamsの使い方にもだいぶ慣れてきたところのようですが、スマートホンでの長時間の学習には限界があることも事実です。家庭環境が許すようであれば、タブレットやプリンタも利用していただきながら、家庭での学習が進むことを期待しています。加えて、感染防止のためのオンライン学習ですので、不用意な外出や友達との接触で感染等に繋がってしまうことがないような行動もお願いしたいと思います。また、3年生の最後の学年行事として卒業式直前に予定していた「よみうりランド」への遠足についても、安全に卒業式予行と卒業式を確実に実施することを配慮し、遺憾ながら中止とさせていただくことにしました。修学旅行を実施できないままでこの時期を迎え、最後に楽しい思い出作りとして企画していましたので大変残念ですが、ご容赦いただければと思います。

さて、校内は、改修工事で少しずつ綺麗になった校舎の外装が見えてきました。年末の本校舎の仮設足場の撤去に続き、1月末には渡り廊下を中心とした部分も撤去されました。本校舎北側と渡り廊下、昇降口前のシンデレラ階段付近が大変明るくなりました。校舎施設そのものが新しくなるわけではありませんが、学校に登校する度にウキウキとした気持ちになれることを嬉しく思います。生徒の皆さんもきっと同様でしょう。校舎同様、気分新たに日々の生活を歩んでいきたいものです。

1月8日(土)には、中学校3年生向けに、都立入試対策講座を開催しました。個別相談会も併せて開催し、本校受検生を中心に80名近くの受検生とその保護者の方に参加していただきました。昨年度はできませんでしたので、一昨年との倍増以上の参加でした。本校への期待が強く感じられます。

コロナ対策とコロナ禍における教育活動は引き続き求められていきますが、安心・安全な田柄高校であり続けるために、ご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。



# 学校評価アンケート（生徒・保護者）の結果について

本校では、今年度も12月～1月に全校生徒・保護者、教職員及び地域の皆様による学校評価アンケートを実施しました。ここでは、3点満点に換算した生徒及び保護者の学校評価アンケート結果を中心に概要を報告します。今年度も全方位型のアンケートを行い、本校の教育活動について全般を捉えることができるよう、項目立てを見直しました。特に、保護者の皆様には生徒の Teams から回答をいただく形をお願いをさせていただきました。ご協力いただきました各御家庭の皆様にご礼申し上げます。ここでは昨年度と内容がほぼ同様の項目について、前年度比較ができるようにしてあります。また、今年度は、オンライン学習が新たに推進されましたので、そのことを向う設問も新設しました。比較は0.6ポイント以上の有意差があった項目に↑↓を付してあります。

生徒による学校評価アンケートでは、全般はほぼ昨年度と同様の傾向でしたが、全般的に向上して好意的に捉えている面が増加しています。特に、学校行事への参画、生活の決まりの順守、配布プリントの共有等が増加しています。また、部活動への参画については、昨年度より低下しています。

一方、保護者による学校評価アンケートでは、回収115名(23.7%)と昨年度の164名(33.8%)より下回りましたが、ほぼ全保護者の傾向を表していると考えます。これは、Teams による回答をお願いし、回答しやすかった面とプリントの方が良かった面との差が出た結果です。今後は、より回答しやすい方法を検討します。結果の全般的な傾向では、昨年度より向上しました。特に、学校的生活指導方針の理解、生徒の学校行事への参画、校内美化、学校の情報発信に見られます。また、生徒の部活動への参画は若干低下しました。

これらの結果については、コロナ禍における教育活動の継続性についての理解が共通項目として挙げられます。コロナ禍でも教育活動を止めずにできることを充実させていかなければいけません。昨年度は全くできなかった学校行事を学年別や感染対策を講じながらでしたが、工夫して実施できたことが理解に繋がっていると考えます。また、新しくなったHPやTeamsを活用した情報発信で、学校での動きや対応についても理解しやすくしていただくことができたことも挙げられます。学校の教育方針を理解していただけることが大切であると感じています。しかし、部活動については感染対策を講じながらの場合、できる内容が限定的になることや他校との練習や対外試合が制限されること、オンライン授業日が続き活動が制限されたことの影響が出ています。全般的には、部活動が感染増大に繋がり、教育活動に支障をきたした事例もあり、今後一層の工夫が必要となってきます。

これらを踏まえ、次年度に向けた本校の教育活動について、次のような基本方針を立てて進めていきたいと考えています。

まず、学習指導面です。令和4年度生から新教育課程の開始に伴い、本校では、外国文化コースの廃止、新しい科目の実施、観点別学習評価・評定の導入を開始します。また、定期考査等も改善してまいります。加えて、新1年生から全生徒がタブレットパソコンを購入しますので、オンライン授業も一層の推進と改善を進めてまいります。

校内寺子屋事業や日本語指導については引き続き進めてまいります。

次に、生活指導面については、基本的な生活習慣の維持と問題行動への対応を引き続き適切に行ってまいります。ルールに基づいた普通の生活をしていれば、心配することはありません。特に、近隣からの苦情等は大幅に減少しているものの特別指導が少なくありませんので、しっかりと学校生活を送れるようにしていきます。また、コースは学年進行で無くなっていきますが、在京卒募集はありますので、外国籍の生徒や外国にルーツのある生徒に向けた指導として日本での生活マナーを併せた指導を進めていくために、人権教育の一層の推進に努めてまいります。学校行事については、今年度コロナ禍でも安心・安全に行うことができる方向性を見出したので、今後は校外行事の充実に向けた工夫をしてまいります。

進路指導・教育相談面については、特別支援教育コーディネーターを中心にYSWや外部機関との連携を引き続き進め、卒業時の進路決定率の向上に向けた取り組みに繋げてまいります。

これらの結果をもとに、今年度最終の学校関係者評価を行い、次年度の教育計画に活かしてまいります。本校では、引き続き生徒への指導を充実していきたいと考えております。今後とも御支援をよろしくお願いいたします。

## < 評点 >

3 よくあてはまる 2 あてはまる 1 あまりあてはまらない 0 あてはまらない・不明 平均：1.50

生徒による学校評価アンケート		昨年度	今年度
1	私は田柄高校に入ってよかったと思う。	2.03	2.02
2	田柄高校の授業の内容は充実していると思う。	1.79	1.85↑
3	田柄高校では身だしなみや授業などの指導がおこなわれている。	2.08	2.11
4	私は学校の決まりをきちんと守っている。	2.39	2.47↑
5	先生は生徒の声をよく聞き、アドバイスをしてくれる。	2.02	2.03
6	私は部活動に積極的に参加している。	1.47	1.23↓
7	私は学校行事に積極的に参加している。	1.92	2.07↑
8	私は校内でゴミを散らかしたりしていない。	2.59	2.70↑
9	学校で配られたプリントは必ず保護者に渡している。	1.90	2.02↑
10	先生は体罰をしていない。	2.48	2.61↑
11	田柄高校ではいじめ防止の取組が行われている。	—	2.02
12	家庭においても、集中してオンライン授業に取り組むことができた。	—	2.19
13	オンライン授業においても、通常の授業と同様に授業を受けることができた。	—	2.06

【註】矢印は昨年度との増減比較、太文字は昨年度より増加した項目、— 新設項目。

保護者による学校評価アンケート(回答数115名 23.7%)		昨年度	今年度
①	子どもを田柄高校に入学させてよかったと思う。	2.09	2.16↑
②	子どもは授業に満足しているようだ。	1.85	1.91↑
③	生活指導の方針を理解している。	1.99	2.12↑
④	子どもは学校の決まりをきちんと守っていると思う。	—	2.54
⑤	先生の指導は適切であると思う。	2.07	2.11
⑥	子どもは部活動に積極的に参加しているようだ。	1.45	1.44
⑦	子どもは学校行事を楽しんでいると思う。	1.64	2.14↑
⑧	子どもは校内美化に取り組んでいると思う。	1.69	2.09↑
⑨	HPや授業公開、配布プリントなど、学校は情報を適切に発信していると思う。	1.83	2.14↑
⑩	先生は体罰のない指導を行っていると思う。	2.31	2.51↑
⑪	学校が働き方改革に積極的に取り組み、業務の効率化や在校時間の縮減に努めていることを知っている。	1.75	1.86↑
⑫	田柄高校ではいじめ防止の取組が行われていると思う。	—	1.99
⑬	家庭において、集中してオンライン授業に取り組む環境を与えることができた。	—	2.24
⑭	オンライン授業においても、通常授業と同様に授業を受けることができていたと思う。	—	1.89

【註】矢印は昨年度との増減比較、太文字は昨年度より増加した項目、— 新設項目。

